

母校に寄せる

熱い思い

米国在住 モーア公子さん来訪

本学園創設期の金沢女子専門学園二回生で現在、米国フロリダ州在住のモーア(旧姓福永)公子さん(75)が十月二十九日、金沢学院大学を訪れ、石田寛人学長と懇談しました。モーアさんは、以前申し出があった遺産の信託契約による本学への寄付十万ドルについて「少しでも学校のお役に立ちたい」と、母校に寄せる熱い思いを改めて語りました。

モーアさんは、滋賀県で開かれた女専二回生のクラス会に出席するため来日し、その足で二年ぶりに本学を訪れました。

懇談では、金沢市内の菩提寺にある両親の墓の世話



石田学長と懇談するモーア公子さん = 学長室

の寄付について、「将来、もし孫ができなければ、全額を学校に寄付させていただきます」と述べています。また、「クラス会でも、みんな資産家には嫁いだのだから、もっと母校に寄付しないさ」と薦めてきました。



自由な発想の作品が並んだ高屋ゼミ展
"金沢市香林坊のギャラリー香林坊21"

高屋ゼミ展「COME UP 2nd」 23日まで北國新聞会館別館で

金沢学院大学美術文化学部情報デザイン学科、高屋喜久子助教のゼミグループ展「COME UP 2nd」は十一月二十日、金沢市香林坊二丁目の北國新聞会館別館二階、ギャラリー香林坊21で始まり、同ゼミに所属する三、四年生十六人が、グラフィック

作品にみずみずしい感性

クス、映像など計二十五点を出品しました。学生たちの自由な発想とみずみずしい感性をほうふつさせる作品が並びました。訪れた人たちは、出品した学生の説明に耳を傾け、鑑賞していました。同展は十一月二十三日午後四時まで開かれています。

古選手に会いたいな

鞍月小児童 総合学習で来校

金沢市鞍月小学校の児童四人は十一月十日、金沢学院大学を訪れ、古童子講師から話を聞き、トランポリンの演技を見学しました。六年生の総合学習で、こ



古講師と話す鞍月小学校の児童"第二体育館"

の人に会いたい」をテーマに、将来なりたい職業や興味のある分野の人たちを訪問する取り組みの一環。昨年夏に古講師が鞍月小学校育友会などが主催した講演会に出向いたことがあり、トランポリンに興味のある児童が来訪しました。

児童は、古講師に小学六年生で出場した全日本選手権やシドニー五輪の思い出などを尋ねたのに対し、古講師は「目標を立て、強い意志を持って努力してください」と励ましました。

東高へ北陸銀財団から作業台の寄贈

金沢東高校は北陸銀行奨学助成財団の平成十六年度寄贈対象校に選ばれ、十一月九日、同校で寄贈品である軽量折りたたみ式作業台十一台の目録が手渡されました。

来校した上野英一北陸銀行金沢支店長が「ささやかですが、お受け取りください」とあいさつしたのに対し、石田毅士郎校長は「いただいたものを活用し、教育の充実に努めたい」とお礼の言葉を述べました。



寄贈の軽量折りたたみ式作業台を見る上野支店長(左)と石田校長"金沢東高校美術文化コース"

韓国社会と日本の相違など興味深く

土曜大学第9回

金沢学院大学基礎教育機構主催の土曜大学第九回講座は十一月六日、2号館で開かれ、中島彰史助教が「写真」が「言語文化の面白さと不思議さ」と題して講演しました。中島助教は、厳しい上下関係や共同体意識など韓国社会の特徴を日本と比較し解説しました。



発行・広報室